



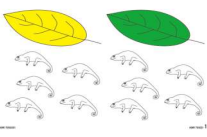
4歳児クラス 5月 第2回 「じぶんだけのいろ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーだけでなく、カメレオンの色が変わる色彩の美しさを楽しみながら進行する。 ・全員が集中して見られるフォーメーションでお話を読む。 ・お話のあとに、それぞれの子どもたちに「自分だけの色」について問いかける（自分のイメージ色、好きな色、似合うと思う色など） ・図鑑などで、カメレオンについて調べておく。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ・カメレオンのペープサートを提示、子どもたちに自己紹介。「こんにちは、ぼくの名前知ってるかな?」「カメレオンって言うんだよ」ペープサートで会話をしながらお話への期待感を持たせ、シアターに繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート(カメレオン) 	
導入		保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ペープサート提示 ・会話をする 

がくしゅうタイム

活動①	数	10の操作ができる	
設問	カメレオンが葉っぱのおうちに同じ数ずつ帰ると、いくつずつになりますか。葉っぱの上に同じ数だけおはじきをおきましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・保:「やあやあ皆さんこんにちは、遊びに来たよ」等でプリント提示 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講:「こんにちはカメレオンくん」「たくさんいるね、皆で数えてみよう」人差し指を出し、左上から右下まで順番に数える。数えられたら、プリントに耳を近づけて「えっ? なになに…葉っぱのお家に帰りたいの?」「いいよ連れていってあげる」等でおはじきの入っている皿を出し、10個おはじきが入っている皿から、1つずつカメレオンに乗せる。 ・「黄色(い葉っぱ)に1つ、緑(の葉っぱ)に1つ」と言いながらおはじきを操作する。 ・数の理解を深めるために、具体物を使って行うと良い。今回は、おはじきを使用して行う。 ・何匹ずつ葉っぱに乗れたか確認し、賞賛する。 		<ul style="list-style-type: none"> P1 ★おはじき ★お皿
			保育士の役割
活動②	実験	セロハンを使い色の変化を自ら試してみる	
設問	セロハンをかざしていろいろな物を見て色の変化を楽しみましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・保:「わあー凄い、みんなが赤く変身してる」と、セロハンを目にあてて登場。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講:「先生どうしたの、誰も変身なんかしてないよ」等で、セロハンに気がつき、セロハンを受け取る、セロハンでいろいろなものを見ながら楽しそうに大げさに驚くリアクションをする。 ・子ども達の「やりたい」「欲しい」という気持ちが高まったところで「みんなもやってみる?」と問いかけ、1枚ずつセロハンを配る。 ・部屋の中を動きながらお部屋にある様々なものを見て色の変化を楽しむ。 ・講:「まだ他の色もあるよ」等で色の確認をし「もう1枚重ねてみよう!」等で2色・3色…重ねて色の変化を楽しむ。 ・どんな色になったか、どこを見るのが楽しいか、活動しながら発言するのもよい。 ・講:「おーい僕達も変身したいよ」カメレオンカード登場。 ・カメレオンカードにセロハンを乗せたり、電気や窓に向けて透かして色の変化を楽しむ。 ・いろいろ実験ができれば、賞賛し、封筒に入れて終了。 		<ul style="list-style-type: none"> セロハン(赤・青・黄) 封筒 カメレオンカード
			保育士の役割

数子ヤレ	おせい		教材
設問			
活動内容	※今回は活動①で実施		保育士の役割